

20 年目の増築 …… E 認定こども園

園庭より見る／塔のある左部分が既設園舎、右が今回増築部分。



20 年前に設計した市立幼稚園を認定こども園に整備する工事が先日完成した。増築基本設計を終えたが実施設計は組織設計事務所が行うこととなり当社は工事監理に再び携わった。私の基本設計では新築時の弓型平面に変形切妻屋根の開放的プランを踏襲した一体感のある計画であったが、実施設計では何故かポツ窓の四角いプランに変わっていた。

“いかななものか”との思いはあったが、元の建物への愛着と組織事務所の“実力”を確かめたく第 3 者監理を初めて行った。結果は上の写真でご推察頂くとして、既設改造部分園児用WCを、工期工事費軽減を目的に変更提案を行った(左中上から右下写真)。以前の保育室内にある 8 角形の明るい“DEN”の空間を改造し、中央にモザイクタイルの腰壁により仕切られたトイレとシャワー空間を造った。もちろん大人の視線は通り抜ける高さである。窓回りにはヒノキ材によるベンチと収納を造り付けた日当たり良い明るいシャワー室となった。……もちろん床暖は仕組んでのこと。

私の設計する他の園舎同様、腰壁の製作に市の担当と共に園の先生方に協力頂き、モザイクタイルの一部にカラータイルで“遊び”のデザインを加えて頂いた。この時ばかりは皆こどもの気持ちに戻られた様だ(笑)。壁の出隅は全て役物タイルを使っている。これらの役物は近頃めっきり少なくなってしまったのが残念だが私の好きなアイテムだ。

園児用WC＋
裏側にシャワー
コーナー



先生＋市担当
＋事務所スタッ
ッフ(全て女性
陣)による腰
壁の制作風景



出隅の役物タイル